

伊東市総合計画審議会第2専門部会
審 査 報 告 書

本審議会から審査を付託されました第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画のうち、本専門部会担当部分について、審査した結果を次のとおり報告します。

令和2年10月27日

伊東市総合計画審議会

会長 鈴木 洋子 様

伊東市総合計画審議会

第2専門部会

部会長 原 崇

記

1 審査担当部分

施策分野「2-1 地域医療の充実」から「2-9 保険・年金制度の運営」
まで

2 審査年月日

令和2年9月29日（火）

3 審査結果

審査担当部分について、慎重に審議検討を行った結果、別紙のとおり一部修正意見を付し、他は諮問案のとおり決定しました。

なお、別紙のとおり意見を付します。

以 上

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-1 地域医療の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	26	2-1 地域医療の充実 ③現状と課題 ■現状 ・伊東市民病院は、国が進める病診連携を推進する中核的病院となる「地域医療支援病院」に指定され、急性期医療の役割を果たしています。 (略) ・伊東市民病院は、災害拠点病院機能を持ち災害時に災害医療救護活動の拠点として機能を果たすことが求められています。	7~8行目は削除し、1~2行目の次に「また、災害拠点・・・求められています。」と併せて説明する。 市民病院についての説明は、まとめた方がいいと思います。 【修正案】 (1行目) 伊東市民病院は、国が進める・・・役割を果たしています。 また、災害拠点病院機能を持ち・・・求められています。	現状と課題、施策の方針、基本的な取組、それぞれにおいて、平時における対応と災害時における対応をかき分けていることから、現状の記載とさせていただきます。 【専門部会での委員意見】 異議なし	諮問案のとおり
2	26	2-1 地域医療の充実 ③現状と課題 ■現状 ・伊東市立夜間救急医療センターにおいて一次医療分野の初期救急を担い、伊東市民病院において第二次救急医療を24時間受け入れる体制を確保することにより、市内の救急医療の充実化を進めています。	「充実化を進めている」という表現は改めた方がいいと思います。 【修正案】 <u>救急医療体制の整備を進めています。</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
3	26	2-1 地域医療の充実 ③現状と課題 ■課題 ・市民病院と地域の医療機関との連携強化	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 <u>伊東市民病院と・・・</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
4	26	2-1 地域医療の充実 ④施策の方針 ・市民のみならず、来遊客にも対応できる病院機能の整備、特に救急医療体制以外にも健診機能等の充実化を図ります。	「充実化」→「充実」 【修正案】 <u>等の充実を図ります。</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-1 地域医療の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
5	26	2-1 地域医療の充実 ④施策の方針 ・市民病院が災害拠点病院として機能を維持するとともに、救護所及び重症患者を搬送する広域的拠点施設との連携強化を図り、災害医療体制の充実強化を図ります。	市民病院が災害拠点として機能を維持するとともに（緊急時にはドクターヘリ等を使用）救護所及び重症患者を搬送する・・・ 【修正案】 緊急時にはドクターヘリで搬送する	御提案を踏まえ、「・・・ <u>広域的拠点施設との連携強化を図り、搬送方法を含めた災害医療体制の充実強化を図ります。</u> 」に修正いたします。 ※ドクターヘリ以外の方法も想定されるため、包含着して「搬送方法を含めた」との追記にいたしました。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
6	27	2-1 地域医療の充実 ⑤基本的な取組 災害医療体制の充実	災害時市民病院が拠点病院になると思うが、市、地域と十分な連携が取れているのか？	災害拠点病院として被災地からの重症傷病者の受け入れ機能を持つ市民病院においては、地域の診療所等との病診連携を推進する地域医療支援病院としての機能も担っておりますので、日ごろから、市、地域の診療所及び市民病院との間での連携体制の構築に努めております。 【専門部会での委員意見】 異議なし	—
7	27	2-1 地域医療の充実 ⑥役割分担 ■市民 ・医療資源が有限であることを理解し、かかりつけ医を持つことで自分や家族のほか、より多くの命を守ります。	市民の役割として、「より多くの命を守ります。」という表現より、自らができることを表現する方がいいと思います。 【修正案】 ・・・ <u>自分や家族の健康保持・増進に努めます。</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
8	27	2-1 地域医療の充実 ⑥役割分担 ■行政 ・医療従事者の確保について、医療従事者確保対策事業を通じ伊東市民病院の医療従事者確保に努めます。	説明が重複しているので「医療従事者の確保について、」を削除する。 【修正案】 ・ <u>医療従事者確保対策事業を通じ伊東市民病院の医療従事者確保に努めます。</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし ※パブリックコメント意見を受け、文末を「努めます」から「図ります」に修正	修正

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-2 健康づくり支援

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	29	2-2 健康づくり支援 ⑤基本的な取組 こころの健康づくりの推進 主な内容 庁内各部署及び医師会等関係機関とのネットワーク を利用した支援体制の構築と人材育成	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・・・伊東市医師会等・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
2	29	2-2 健康づくり支援 ⑥役割分担 ■行政 ・医師会等と連携し、対象者のニーズに合った受け やすい健診体制の整備に努めます。	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・伊東市医師会等と連携し、・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
3	29	2-2 健康づくり支援 災害時の感染症予防について	コロナ禍の中災害が起こった場合の地域での地 域の避難所でのきめ細かな対応、運営マニュアル を作ってほしい。	第1専門部会所管の政策目標1に関する意見となりま すので、参考意見として承ります。 【専門部会での委員意見】 異議なし	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-3 出産・子育て支援の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	30	2-3 出産・子育て支援の充実 ①施策が目指す姿 「子育て世代」の目指す姿 心身共に健やかに子育てができる	「出産・子育て支援の充実」の項目であるので、「安心して出産ができ、」を加えたらどうか。 【修正案】 安心して出産ができ、心身ともに健やかに子育てができる	①施策が目指す姿のうち、子育て世代が目指す姿を「安心して出産ができ、心身ともに健やかに子育てができる」に修正します。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
2	30	2-3 出産・子育て支援の充実 ③現状と課題 ■現状 ・ひとり親家庭等については、子育てと就業の両立により、生活・育児環境が厳しい状況にあり、また、貧困率も高く経済的に厳しい状況です。	「また、」は不要ではないか。 【修正案】 貧困率も高く・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
3	30	2-3 出産・子育て支援の充実 ③現状と課題 ■現状 ・少子化や地域のつながりが希薄になる中、全国的に虐待が問題になっています。	「虐待」→「児童虐待」 【修正案】 ・・・全国的に児童虐待が・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
4	31	2-3 出産・子育て支援の充実 ⑤基本的な取組 子供が安心して暮らせる環境づくりの推進	市で児童虐待早期発見、早期対応のための具体的な取り組み。	学校、幼稚園、保育園のほか、児童相談所、警察等関係機関と常時連携し、子どもの異変等に関する情報の共有を図るとともに、伊東市要保護児童対策地域協議会を設置し、実務者会議（毎月）や個別ケース検討会議（随時）を開催し対応しています。 【専門部会での委員意見】 異議なし	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-3 出産・子育て支援の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
当日意見	30~31	2-3 出産・子育て支援の充実	<p>【専門部会での委員意見】 「貧困等の問題を抱える家庭は社会的に孤立する傾向があるとされ、またその子も大学への進学率が低い傾向にあります」という箇所は重大な課題である。市の対応を見ると、貧困の問題を解決し子どもたちの進学率を上げるためにどうするのかという具体的な施策が見えない。奨学金以外の事業はあるのか。</p>	<p>子育て支援課として、ひとり親世帯は貧困率が高いことから、児童扶養手当の適正な給付や放課後児童クラブ、ファミリーサポートセンター等の利用に係る助成を行っております。併せて、子どもの居場所づくり事業として、こども食堂の設置を進めており、食事がとれないような子を抱える世帯に参加していただくため、別途案内をしております。合わせて、社会福祉課として、生活困窮者自立支援事業と学習支援事業がございます。高校進学を控えている子どもが、進学塾に行けないなどの事情を考慮し、無料で学習支援を受けられるように努めております。</p> <p>また、コロナ禍において学校も授業時間が不足しがちな中で、学校と連携を図り、利用促進に努めております。</p>	—
当日意見	30~31	2-3 出産・子育て支援の充実	<p>【専門部会での委員意見】 ひとり親家庭に対する施策は、未婚の方も補助対象となるのか。</p>	<p>児童扶養手当を受給されていれば、未婚の家庭も各種補助が適用されます。</p>	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-4 保育及び幼児教育の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ①施策が目指す姿 対象 子どもたち 子育て世代	対象の「子どもたち」と「子育て世代」の順番を入れ替える。 30ページの出産・子育ての充実の①施策が目指す姿では、「子育て世代」「子ども」となっている。 【修正案】 対象 「子育て世代」・・・ 「子どもたち」・・・	当該施策は、子どもたちが主の施策であると考えているため、現状のままいたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	諮問案 の お り
2	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ③現状と課題 ■課題 ・多様化する子育てニーズへの保育事業の推進	表現を改める。 【修正案】 ・・・ <u>ニーズに対する保育事業の推進</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
3	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ③現状と課題 ■課題 ・保育園及び幼稚園の安心・安全な運営の推進	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・・・ <u>安全・安心な</u> ・・・	修正案のとおり修正するとともに、No4、No5と合わせ、「 <u>幼稚園及び保育園の安全・安心な</u> 」に修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
4	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ③現状と課題 ■課題 ・保育園及び幼稚園の老朽化対策、未利用施設の活用などの検討	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・ <u>幼稚園及び保育園</u>	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-4 保育及び幼児教育の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
5	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ③現状と課題 ■課題 ・幼稚園・保育園の再編	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・幼稚園及び保育園の再編	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし ※合わせて施策の方針についても修正する。	修正
6	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ③現状と課題 ■課題 ・保育人材の確保	表現を改める。 【修正案】 ・教育・保育にかかわる人材の確保	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
7	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ④施策の方針 ・保護者が最適な保育サービスを選択できるように、子育て支援に係る事業の情報提供サービスの連携及び充実に努めます。	表現を改める。 【修正案】 ・・・・情報サービスの充実に努めます。	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
8	32	2-4 保育及び幼児教育の充実 ④施策の方針 ・教育・保育現場の人材確保、専門的な知識の習得及び保育技術の向上に努め、安心・安全な教育環境及び保育の充実と質の向上を図ります。	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 ・・・・安全・安心な・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
9	33	2-4 保育及び幼児教育の充実 ⑤基本的な取組 保育園及び幼稚園の再配置計画の策定	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 幼稚園及び保育園・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-4 保育及び幼児教育の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
10	33	2-4 保育及び幼児教育の充実 ⑤基本的な取組 主な内容 保育園及び幼稚園の認定こども園を見据えた再編	他の箇所の記載と合わせる。 【修正案】 幼稚園及び保育園・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
11	33	2-4 保育及び幼児教育の充実 ⑤基本的な取組 多様な保育事業の推進	乳児家庭全戸訪問を追加した方がよい	乳児家庭全戸訪問につきましては、母子の心身の状況や養育環境を把握するほか、育児に関する不安等の解消を図ることを目的に実施しており、「3 出産・子育て支援の充実」の「⑤基本的な取組」の「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進」に含まれる事業になります。 【専門部会での委員意見】 異議なし	諮問案のとおり
12	33	2-4 保育及び幼児教育の充実 ⑥役割分担 ■市民 ・仕事と家庭のバランスに配慮した柔軟な働き方ができるよう、事業主の意識醸成に努めます。	企業・事業所等の役割分担であるので、表現を改める。 【修正案】 事業主の意識醸成とともに、仕事と家庭のバランスに配慮した柔軟な働き方ができるよう努めます。	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
当日意見	32~33	2-4 保育及び幼児教育の充実	【専門部会での委員意見】 認定こども園も見据えた再編との表現になっているが、目標をどのように定めているのか。また、来年度スタートする川奈愛育クラブ以外に具体的なビジョンはあるか。	幼稚園・保育園の検討委員会が10月から始まり今年度内には方向性のある程度まとめていけるよう計画しています。 川奈愛育クラブ以外については、現時点では必ずしも認定こども園になると断言はできないため「見据えた」という表現にさせていただきました。	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-5 高齢者福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	34	2-5 高齢者福祉の充実 ②成果指標（KPI） 元気な高齢者の割合 目標値 84.0%以上 生活支援サポーターの養成者数 目標値 200人以上（5年間累計）	現状値が84.1%であり、目標値がこれより低い84.0%とした根拠はなにか。 また、生活支援サポーターの養成者数の目標値5年間で200人以上とした根拠はなにか。	【元気な高齢者の割合について】 2025年度には団塊の世代が後期高齢者となることから、要介護認定者数の増加が見込まれるため、元気な高齢者の割合も大きく減少すると考えられますが、介護予防事業等の効果により、現状と比較し微減に留めることを目標としました。 【生活支援サポーターの養成者数について】 令和元年度においては45人を養成し、登録者数を232人としているところ、利用状況については、前年から358件増の562件となっています。このニーズ増加の状況と、生活支援体制整備の進展を鑑み、年平均40人のサポーターを養成することで、地域の支えあいの基盤が整えられることを目標としました。 【専門部会での委員意見】 異議なし	—
2	34	2-5 高齢者福祉の充実 ②成果指標（KPI） 生活支援サポーターの養成者数 目標値 200人以上（5年間累計）	現状値45人に対し、目標値は5年間累計で200人以上となっており、1年で40人となるが、十分な数値と考えてのことなのか。	【生活支援サポーターの目標数値について】 令和元年度においては45人を養成し、登録者数を232人としているところ、利用状況については、前年から358件増の562件となっています。このニーズ増加の状況と、生活支援体制整備の進展を鑑み、年平均40人のサポーターを養成することで、地域の支えあいの基盤が整えられると考えました。 【専門部会での委員意見】 生活支援サポーターとは、何を指しているのか。 【意見を受けての市の対応】 35ページでいうところの「住民相互で行う高齢者を支援するボランティア」に当たります。認知症サポーターは認知症に対する理解を深め認知症の方を支援していただくための知識を得て周知していただいた方であり、生活支援サポーターとは別になります。	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-5 高齢者福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
3	34	2-5 高齢者福祉の充実 ③現状と課題 ■課題 ・介護保険サービスに無い、住民の助け合いや高齢者の力を活用したサービスの創出	表現を改める。 【修正案】 ・介護保険サービスで対応できない・・・	地域の支えあいによる生活支援は、介護保険サービスでの対応と重なる面もあることから、「 <u>介護保険サービスによらない</u> 」と改めます。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
当日意見	34~ 35	2-5 高齢者福祉の充実	【専門部会での委員意見】 生活支援サポーターは現状45人に対して5年後目標200人ということで、目標値が高いと感じる。サポーターの多くも高齢者である事は課題ではないか。	生活支援サポーターは高齢者の方が占めており、現状としては、生活支援サービスの利用数に対しては現状のサポーター数でほぼ充足しています。目標値を高く設定した理由につきましては、今後、後期高齢者が増加する中で日常的な困り事を解決していく生活支援サポーターの存在がますます重要になり、さらにきめ細かいサービス提供が必要になるであろうと予想されることから、対応できるボランティアの育成が必要であるためです。また、生活支援サポーターが将来的には支援される側に回ることを中長期的のスパンで考えて200人と設定しました。	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-6 障がい者福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	36	2-6 障がい者福祉の充実 ②成果指標（KPI） 障がい福祉サービス支給決定者数（実数） 現状値に対する目標値	数が増えることが実質的な成果と言えるのか（支給対象になる人が支給されていない実態があるのか）。	障がい福祉サービスの利用人数は、年々増加傾向にありますので、サービス利用に支障を来たすことのないよう、障がい福祉サービス支給決定者数を目標値に設定しております。 【専門部会での委員意見】 支給決定済みでサービスが提供されていない人はいるのか。 【意見を受けての市の対応】 ヘルパーや提供事業者等が不足しており、支給決定がされていても希望通りにサービスが提供されていない方も一部いらっしゃるため、改善していきます。	—
2	36	2-6 障がい者福祉の充実 ④施策の方針	災害時の聴覚障がい者の不安 安全な避難所への案内 【修正案】 聴覚障がい者への手話通訳者 要約筆記者の育成講座	政策目標2、6 障がい者福祉の充実、④施策の方針中に記載はありませんが、政策目標1、1 危機管理体制の充実、④施策の方針中、「避難所における良好な生活環境の確保」の中に災害弱者への対応は含むものと捉えております。 （災害時における聴覚障がい者の不安解消等に努めてまいります。） 【専門部会での委員意見】 聴覚障がい者について、災害時の避難方法や伝達のルール等はあるか。また、観光で外部から来られた障がいを持つ方に対して、対応策はあるか。 【意見を受けての市の対応】 生まれつき障がいをお持ちで市に情報がある方には日ごろから接点があり確認も取りやすいですが、事故等で突然不自由になられた方を把握できていない部分がないとも限りません。自宅にいる場合には地域の人に声をかけてもらうようにするなど、市からも機会を通じてお伝えしていきたいと思っております。 外部から来られた障がいを持つ方については、現状では対応できていません。公共機関や関係各所で聴覚だけでなく視覚でも情報提供できるように協力を仰いでいきたいと思っております。	諮問案 の と お り

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-6 障がい者福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
3	37	2-6 障がい者福祉の充実 ⑥役割分担 ■行政	2行目に 「障がい者が働く喜びを確かなものにするために地域に働く場の確保」を追加した方が、次のハローワークの文章につながると思う。	「ハローワーク等と連携し、」の前に「働くことが障がい者の生きがいにつながるよう、」を加えるよう修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
4	37	2-6 障がい者福祉の充実 ⑥役割分担 ■市民 ・障がい者（児）がサービスを受けながら、自立した生活を目指します。	表現を改める。 【修正案】 ・障がい者（児）が必要なサービスを受けながら、・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
5	37	2-6 障がい者福祉の充実 ⑤基本的な取組 障がい者雇用の推進	伊東市役所では障がい者の雇用は何人ぐらいですか？	現在16人雇用しております。 ※障害者雇用促進法に基づく障害者雇用率 伊東市 2.95%（6月1日現在） 法定雇用率 2.5%を達成 【専門部会での委員意見】 異議なし	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-7 地域福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
1	38	2-7 地域福祉の充実 ①施策が目指す姿 対象 支援を必要とするひと	表現を改める。 【修正案】 支援を必要とする人	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
2	38	2-7 地域福祉の充実 ②成果指標（KPI） ボランティアセンターによるボランティア活動あっ 旋件数	令和元年に18件で、令和7年の目標が60件は多 すぎると思う。	少子高齢化の進む中、地域共生社会の実現に向け て、ボランティア活動への市民参加は重要な課題で ありますので、ボランティア活動の活性化を目指 し、目標値を設定しております。 【専門部会での委員意見】 異議なし	諮問案 のとおり
3	38	2-7 地域福祉の充実 ③現状と課題 ■現状 ・高齢化の進行等により、支援を必要とする高齢者 が増加している一方で、介護・障害福祉事業所にお いては有資格者等の人手が不足しています。	表現を改める。 【修正案】 ・・・人材が不足しています。	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
4	38	2-7 地域福祉の充実 ③現状と課題 ■課題 ・介護・障害福祉事業所における有資格者等の人材 不足の解消	表現を改める。 【修正案】 ・介護・障がい福祉事務所・・・	修正案のとおり修正いたします。 【専門部会での委員意見】 異議なし	修正
5	38	2-7 地域福祉の充実 中高生に対し福祉の仕事に関心を持てるように	現在も行っているとは思いますが、中高生に対 し、福祉の仕事への理解を高める授業や体験を 継続的に進めていってはどうか？	中高生に福祉の仕事への理解と関心を持っていただ けるよう、毎年度、福祉体験講座を実施しておりま すので、今後につきましても、引き続き市内中学 校、高校と連携して事業を継続してまいります。 【専門部会での委員意見】 異議なし	付帯

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-7 地域福祉の充実

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
6	39	2-7 地域福祉の充実 ⑥役割分担	ボランティアと市民がお互いに支え合う体制づくりへ取り組みます。	⑥役割分担、行政、1行目の「～提供できる支援体制の構築に努めます。」を「～提供するとともに、市民とボランティアが支え合う体制づくりの構築に努めます。」に修正いたします。 【専門部会での委員意見】 修正案が「市民とボランティアが支え合う体制づくりの構築に努めます」とのことだが、「市民とボランティアが支え合う体制の構築に努めます」または「市民とボランティアが支え合う体制づくりに努めます」にした方が良いのではないかと。 【意見を受けての市の対応】 「市民とボランティアが支え合う体制づくりに取り組みます。」に修正します。	修正
当日意見	38～ 39	2-7 地域福祉の充実	【専門部会での委員意見】 39ページ⑥役割分担の行政の部分へ「ボランティア保険活動への加入」を付け加えてはどうか。	企画の中ではボランティアの育成を考えていますが、保険への加入補助は今後予算編成等から検討していきます。	付帯
当日意見	38～ 39	2-7 地域福祉の充実	【専門部会での委員意見】 ボランティア活動のあっせん件数について、現状18件に対して目標値60件の根拠は何か。	現時点においては高めの目標を設定しています。具体化していませんが、人口減少少子高齢化が進む中で地域内での支え合いを進め、福祉関係団体と協力しボランティア斡旋件数を増やしていきたいと考えています。	—
当日意見	38～ 39	2-7 地域福祉の充実	【専門部会での委員意見】 福祉ボランティアの養成の中で「新規登録者のための養成講座の開催、登録者へのスキルアップ研修の開催」の部分が重要になってくると思うが、これは現在も行われているのか。また、どのような形、内容か具体的なことが分かれば教えていただきたい。	現在のところ新規登録者のための養成講座はございませんが、事業所単位でボランティアを募集したり、講座を開催したりしています。コロナの影響もあり現時点では動いていませんが、今後出来るだけ多くの方へ参加していただけるよう講座の準備も進めていきたいと考えています。	—

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-8 多様性のある社会の実現

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
			意見無し		

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

施策2-9 保険・年金制度の運営

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
			意見無し		

第十一次基本計画（案）政策目標2に対する意見等

次第4 その他での意見

No	頁	該当箇所	内容及び意見理由	市の対応	対応
当日意見			<p>【専門部会での委員意見】 東京都町田市では、市職員OBを成年後見人の人材としていると聞いたことがある。伊東市内におられる高齢者は身内が多いので成年後見人の希望者はそれほどでもないかと思うが、市内には外部から高齢者施設に引っ越してきている方もおり、子どもは離れたところで暮らしていて面倒を見ることができないため、時々、成年後見人の依頼が来ることもある。具体的には認知症になると財産管理ができないため元気なうちに成年後見人を立ててお願いしておきたいという内容である。伊東市として成年後見人の人材の育成等は進めているか。伊東市内にも弁護士や司法書士はいるが、大変な仕事であるためほとんど成年後見人を引き受けないのではないかと思う。伊東市から要請されたOBなら的確にやっていただけのではないか。</p>	成年後見制度を使いたい方が使えるようにすることは重要だと考えています。本来であればご親族の役割ですが、昨年は市が5件の申立を行いました。法人として受けることもでき、社会福祉協議会に対応していただいています。一般市民の方には分かり辛い部分も大きいと思いますので今後市民から相談がある場合は、関係課で協議をして進められるよう体制整備をしていきたいと思っています。	付帯
			<p>【専門部会での委員意見】 成年後見人は社会福祉協議会が国や県の委託を受けて、まだ準備を進めている段階である。これから養成して2年後にはしっかりとした制度として発足する計画になっているが、進んでいないのが現状である。一般の方にも市民後見人として協力していただけるとありがたい。</p>		
			<p>【専門部会での委員意見】 障がい者福祉の充実について、障がい者と障がい児を同列に考えて良いのか。障がい児となると教育分野も関わっており本計画の中にも記載はあるが、内容が薄いように感じた。成長に伴う先行きが不透明な中で不安を感じる親御さんもいるため、具体的な施策を充実させてほしい。</p>	基本計画12ページに様々な各課を跨ぐ計画を記載しており、これだけを見ると「概略的すぎる」と感じられるかもしれませんが、さらにその下の実施計画において具体的な施策を展開していきます。	付帯
			<p>【専門部会での委員意見】 市役所では障がい者を16人雇用しているとのことだが、全国平均より上の割合ということで、地域の見本となるようぜひ積極的に進めてほしい。</p>	伊東市の障がい者雇用については、16人を雇用しており、そのうち正規職員と会計年度毎に雇用する臨時職員がいます。一般事務職や駐車場管理等、様々な職種で働いてもらっています。法定雇用率2.5に對し、伊東市の雇用率は2.95であり上回っています。今後も採用についても検討してまいります。	付帯